

第2回 GRAMS Meeting Australia

開催概要

近畿化学協会フロー・マイクロ合成研究会 (GRAMS), メルボルン大学 (UoM) の共催による 第2回 GRAMS Meeting Australia を開催した。昨年につき GRAMS 国際連携活動の一環の日豪共同シンポジウムとして、フロー合成・自動化化学・マイクロリアクター技術に関する最先端の研究成果を共有し産学を越えた活発な意見交換を行われた。

日本側参加者

依光英樹 (京大院理 教授、GRAMS 常任幹事)	亀尾 肇 (阪公大理 准教授)
川本拓治 (山口大工 准教授、GRAMS 学識会員)	兵藤 守 (阪公大理 准教授、GRAMS 学識会員)
YAO YIYUE (阪公大理 研究員)	Zhong Xianzhu (北大総合化学院 助教)
上田 悠介 (石原産業株式会社 研究員、GRAMS 法人会員)	

世話人

Assoc. Prof. Anastasios (Tash) Polyzos (UoM)	Ms. Mika Shimoda (UoM, コーディネーター)
Prof. Hideki Yorimitsu (京大, GRAMS 常任幹事)	Prof. Koichi Fukase (阪大, GRAMS 代表)

滞在先

ibis Melbourne Hotel & Apartments (<https://all.accor.com/hotel/1564/index.en.shtml>)
Address: 15-21 Therry St, Melbourne VIC 3000, Australia

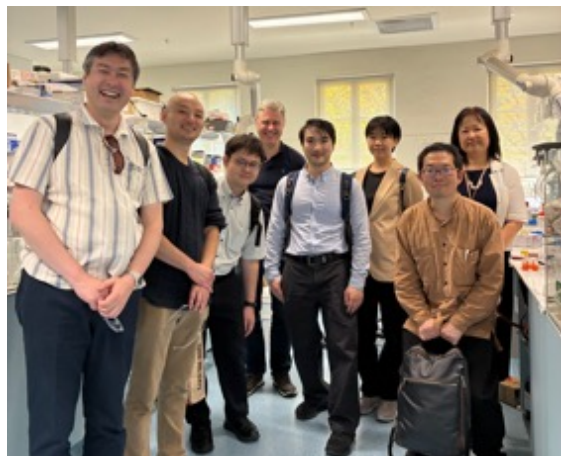
日程および主な活動内容

12月2日 (火) 日本出発・離日

12月3日 (水) メルボルン空港到着後、UoM を視察

James Hutchison 研究室: Exciton Science という題目で日本の WPI に匹敵する予算を獲得し、エキシトン を鍵とする有機マテリアルおよびデバイスの開発をリードしている。産学連携や共同研究も大変盛んであり、学ぶところが多々あった。

Anastasios (Tash) Polyzos 研究室: フローリアクターを活用する有機合成およびプロセス最適化設備を見学した。優秀な学生とともに多彩な化学を手掛けており、若手のリーダーとして大変有望であり、今後 も優れた成果が出てくることを期待させた。



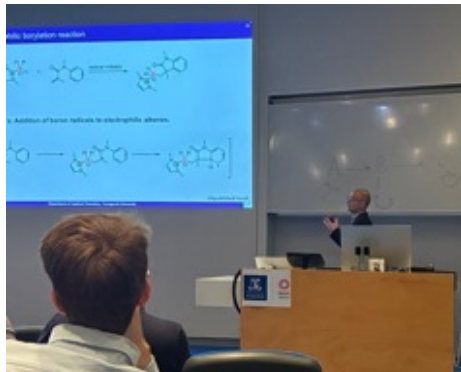
12月4日（木） 2nd Australia – Japan Flow Chemistry, Automation and Microreactor Synthesis Joint Symposium @UoM

参加者数 50 名。依光が基調講演、亀尾、川本、兵藤、Yao, Zhong が招待講演を行った。別添のプログラムも参照。フロー合成、電子移動反応、AI・自動化をはじめ、次世代プロセスに関して活発に議論が繰り広げられた。ディナーでは UoM 化学科長 Uta Wille もお忙しい中参加していただき、UoM と GRAMS メンバーで懇親を深めた。



12月5日（金） RACI (Royal Australian Chemical Institute) 50th Annual Synthesis Symposium@Bio21

参加者数 150 名。川本が基調講演を行った。別添のプログラムも参照。海外からの基調講演とオーストラリアの若手研究者（学生を含む）の講演からなり、有機合成に関する様々な最先端研究が披露され、活発に議論が繰り広げられた。Bio21 の先端設備も見学し大変有意義であった。



12月6日（土） ヤラバレーワイナリー視察

この日に帰国した川本を除く6名に加え、UoMから Prof. James Hutchison, ギリシャから Profs. Alexandros L. Zografos (Aristotle University of Thessaloniki), Stelios Arseniyadis (Queen Mary University of London), Constantinos Athanassopoulos (University of Patras)の10名で催行された。オーストラリア最古のワイナリー Yering Station の訪問などを通じて、日本、オーストラリア、ギリシャの3カ国の親密なネットワークの構築に繋がった。

12月7日（日） メルボルン出発・離豪

末筆となりますが、本会の開催と実施、宿泊費ならびに現地での交通費をご支援いただいた GRAMS、また、現地でコーディネートいただいた UoM の Anastasios (Tash) Polyzos 博士と下田実加様に、参加者を代表し心より御礼申し上げます。

文責：GRAMS 常任幹事 依光英樹

2025年12月12日